

京都混声合唱団

創立100周年記念演奏会

マタイ受難曲

J.S.バッハ

2025.3.16(日)

京都コンサートホール (大ホール)

主催：京都混声合唱団

後援：京都市 京都市芸術文化協会

助成：芸術文化振興基金  三菱 UFJ 信託地域文化財団

ご挨拶

新たな幕開けを迎える節目の時期となりました。本日はお忙しい中、京都混声合唱団創立 100 周年記念演奏会にお越し頂き、厚く御礼申し上げます。

弊団は、京都混声合唱団となる前年の 1925 年より活動を始め、本年で一世紀を迎えることとなりました。この間、長期在団者を軸として歴史が受け継がれ、団員 10 名となったコロナ禍も乗り越えて、「京混」の精神は現在でも活動の根底に流れています。

本日演奏いたしますマタイ受難曲は、数ある宗教曲の中でも最高峰とされる曲の 1 つです。永きにわたる弊団の活動の一つの標として残せるよう練習を重ねてまいりましたので、バッハの音楽を通して受難曲の世界を少しでも皆様にお伝えできれば幸甚です。

これからも歴史を受け継ぎながら、新しい風も取り入れて活動を続けていく所存でございます。どうぞ忌憚なきご叱声などご教示いただきますとともに、今後とも温かいご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和 7 年 3 月 16 日
京都混声合唱団



プログラム

J.S. バッハ作曲 マタイ受難曲

Johann Sebastian Bach
Matthäus-Passion

第 1 部

休 憩

第 2 部

指揮 小玉 晃

独唱 清水 徹太郎 (エヴァンゲリスト/テノール) 三原 剛 (イエス/バリトン)

田中 彩子 (ソプラノ) 清水 華澄 (アルト) 黒田 祐貴 (総督ピラト/バス)

(※その他の役柄については P.9 「合唱出演者」を参照)

オルガンⅠ パブロ・エスカンデ オルガンⅡ 富田 一樹

管弦楽 音登夢管弦楽団

合唱 京都混声合唱団

混声合唱団スコラ・カントルム神戸 (賛助出演)

児童合唱 京都市少年合唱団

指揮 ◆ Akira Kodama

小玉 晃



京都市立芸術大学大学院で蔵田裕行氏に学んだ後渡欧。ヴィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科修了。ドイツ歌曲をモーア、ホッター、シュライヤー、ヘフリガー、ペリー他に、発声を宮廷歌手ニコロヴァに学ぶ。

ベートーヴェン『第九』、バッハ『マタイ受難曲』などのたくさんのソリストを務める他、自らオーケストラを指揮しながらソロを歌う（振り歌い）など演奏の可能性を広げている。

クリアな歌声を生み出す独自の発声メソッドには定評があり、自身が主催する《小玉メソッド》での指導の他、国内外からの指導依頼も多い。効率よく上達できる発声体操のYouTube動画は各方面から大きな反響を得ている。

J.S.G. 国際歌曲コンクール第1位。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞他受賞。

混声合唱団スコラ・カントルム神戸、京都混声合唱団、女声合唱団ヴォワ・ドゥ・ママン、サントリー1万人の第九、パナソニック合唱団他指導者。

大阪音楽大学、同志社女子大学、県立西宮高校音楽科講師。関西二期会会員。小玉メソッド主宰。シューマン《詩人の恋》、日本の歌を集めた《うたの絵本》、シューベルト《冬の旅》のCDをリリース。

エヴァンゲリスト/テノール

◆ Tetsutaro Shimizu

清水 徹太郎



京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第33回飯塚音楽コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール入選他多数上位入賞。文部科学大臣賞、平成29年度坂井時忠音楽賞、平成30年兵庫県芸術賞奨励賞、令和5年度京都府文化賞奨励賞他多数受賞。「カルメン」「魔笛」「夕鶴」「ラインの黄金」「メデア」等、現在まで50演目以上のオペラに主要役で出演。バッハ作曲「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」「口短調ミサ曲」といった四大オラトリオをはじめ、ハイドン作曲「天地創造」、ヘンデル作曲「メサイア」、モーツァルト作曲「レクイエム」、ヴェルディ作曲「レクイエム」など多くの宗教曲ソリストを務める。C= エッシェンバッハ指揮 マラー作曲「千人の交響曲」、チョン=ミョンフン指揮 ベートーヴェン作曲「第九」、A=ゼツダ指揮 ロッシーニ作曲「スターバトマーテル」等海外アーティストとも国内外で多く共演を果たす。藤原歌劇団団員、びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。兵庫県音楽活動推進会議員。滋賀大学、大阪音楽大学、京都市立芸術大学講師。

イエス/バリトン

◆ Tsuyoshi Mibara

三原 剛



大阪芸術大学卒業。1991年第22回日伊声楽コンクール金賞受賞。92年日本音楽コンクール第1位。翌93年には、五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、後に五島記念文化財団奨学生としてドイツのケルンに留学。留学中ベルリンでの演奏はベルリナーポスト誌上にて絶賛された。その後ハーゲン歌劇場、ヴィッテン、グンマースバッハ両歌劇場にも出演し好評を博した。国内においても『魔笛』（日生劇場）『フィガロの結婚』ほか多くのオペラに出演。2006年ヘンツェのオペラ「午後の曳航」で、ザルツブルク音楽祭、フィルハーモニー（ベルリン）、オーデトリウム（トリノ）に出演するなど国際舞台でも実績を上げる。NHK交響楽団をはじめ国内主要オーケストラと共演を重ねており、バロック期から現代作品に至る幅広いレパートリーで高い評価を得ている。

NHK「名曲アルバム」「ふるさとの歌につぼんの歌」「ニューイヤーコンサート」などラジオ、テレビでも活躍。これまでに第9回新・波の会日本歌曲コンクール第1位、第7回グローバル東敦子賞、平成17年度大阪文化祭賞などを受賞。バリトン・カヴァリエーレ（騎士的バリトン）と評される豊かで気品に溢れる声と多彩な表現力は、多くの賞賛を集めている。大阪芸術大学演奏学科教授。

ソプラノ ◆ Ayako Tamaka

田中 彩子



18歳で単身ウィーンに留学。22歳でスイスベルン州立歌劇場にて同劇場日本人初かつ史上最年少でソリスト・デビューを飾る。その後ウィーン、パリ、ロンドン等、国内外問わずグローバルな活動を続けている。エステバン・ベンセクリが彼女の声をもとに作曲した「コロラトゥーラ・ソプラノとオーケストラのための5つのサークルソング」でアルゼンチン最優秀初演賞を受賞。同アルバムは英国BBCクラシック専門音楽誌にて5つ星に評された。日本でも2014年のデビュー以来、国内での演奏活動を重ね、MBS「情熱大陸」やNHKBS「ザ・ヒューマン」などのメディアにも多数出演。また、日本シリーズやボクシング世界タイトルマッチ、世界パレーなどで国歌独唱を務めるなど幅広く活躍している。UNESCOやオーストリア政府の後援によりウィーンで開催されている「国際青少年フェスティバル」への特別参加や、アルゼンチン政府が支援し、様々な人種や家庭環境で育った青少年に音楽を通して教育を施す目的で設立されたアルゼンチン国立青少年オーケストラとも共演、支援するなど、社会貢献活動にも携わっている。

2019年Newsweek誌「世界が尊敬する日本人100」に選出。京都府あげぼの賞受賞。様々な環境に置かれる子ども達に音楽を通じた教育プログラムを考えていく一般社団法人Japan MEP/代表理事、エルシステマ舞鶴子どもコーラス特別顧問、学校法人AICJ 鷗州学園理事長。

アルト ◆ Kasumi Shimizu

清水 華澄



©matron

静岡県出身。国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員およびローム・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究員として渡伊。新国立劇場、東京二期会、日生劇場、兵庫県立芸術文化センターなどのオペラ公演に出演を続け、その卓越した演唱が高く評価されている。近年では新国立劇場『ボリス・ゴドゥノフ』（新制作）女主人役、『リゴレット』（新制作）マッダレーナ役、東京二期会『ドン・カルロ』エボリ公女役、兵庫県立芸術文化センター『蝶々夫人』スズキ役で出演。コンサートソリストとしても、マーラー交響曲第2番『復活』、第3番、第8番『千人の交響曲』、ヴェルディ『レクイエム』、ベートーヴェン交響曲第9番等で国内のオーケストラと共演を重ね、国内外の著名な指揮者から信頼されている。国立音楽大学・大学院准教授。名古屋音楽大学客員准教授。三島せせらぎアンサンブルメンバー。二期会会員。

バス ◆ Yuki Kuroda

黒田 祐貴



東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。Chigiana音楽院でディプロマ取得。第87回日本音楽コンクール声楽部門第2位、岩谷賞（聴衆賞）受賞。第20回東京音楽コンクール声楽部門第3位。兵庫県立芸術文化センターのオペレッタ《メリー・ウィドウ》ダニコでオペラ・オペレッタデビュー後、アントネッロ《ジュリオ・チェーザレ》アキッラ、サントリーホール《リナルド》アルガンテ、日生劇場《セビリアの理髪師》フィガロ等に出演。ベートーヴェン『第九』や宗教曲のソリストとして、藝大フィルハーモニア管弦楽団、オルケストル・アヴァン = ギャルド、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等との共演、「クラシック・キャラバン2022」、NHK-FM「リサイタル・パッション」への出演など、多方面で活躍している。ドイツリートの研究にも積極的に取り組んでおり、2023年よりドイツにて白井光子、Hartmut Holl 両氏の元で研鑽を積む。日本コロムビア『Opus One』レーベルより"Meine Lieder"リリース。二期会会員。

オルガン I ◆ *Pablo Escande*

パブロ・エスカンデ



アルゼンチン生まれ。ブエノスアイレスの音楽院でディプロマを取得後、オランダでチェンバロ、フォルテピアノ、通奏低音をJ・オッホに、作曲をR・レイナに師事。

アムステルダム音楽院卒業後より世界各国から委嘱を受け、国際的なアーティスト達により各地で演奏され続けている。2008年アメリカ・アリエノール作曲コンクール名誉賞、2016年イタリア・ノヴァーラ映画音楽作曲コンクール最もオリジナリティのある作曲家賞、TRINAC2017室内楽部門最優秀賞受賞。

オランダ在任中は数々のオペラやプロジェクトに参加しながら、バロック声楽の名手M.v. エグモントの伴奏者を長年に亘り務めた。現在は日本に在住し、多彩な音楽活動を広げており、作曲や編曲だけでなく、幅広い知識や見解による指揮や伴奏にも定評がある。

日本テレマン協会ミュージックアドバイザー、テレマン室内合唱団指揮者、KANSAI BAROQUE 指揮者、京都女子大学非常勤講師、大阪音楽大学非常勤講師。

オルガン II ◆ *Kazuki Tomita*

富田一樹



大阪音楽大学オルガン専攻を最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。その後リューベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。2016年ライブツィヒ第20回バッハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。バロック音楽を得意とし、国内外でレクチャーコンサートをはじめ数多くの演奏会に出演すると共に、YouTubeではパイプオルガンを紹介する活動も行う。2024年4月から神戸女学院大学の非常勤講師を務める。(一社)日本オルガニスト協会会員。これまでに「咲くやこの花賞(音楽部門)」「音楽クリティック・クラブ賞(奨励賞)」「坂井時忠音楽賞」等を受賞。ドキュメンタリー番組「情熱大陸」(2016年12月)に出演。関西を拠点とした全国各地での広い活動とオルガン音楽の普及への尽力が認められ「2023年度(令和5年)大阪文化賞」を受賞した。

公式サイト：<https://kazukitomitaorg213.wixsite.com/home>

公式 YouTube チャンネル：<https://www.youtube.com/@organisttomitakazuki8436>

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/kazuki.tomita.77>

管弦楽 ◆ *Ototomu Chamber Orchestra*

音登夢管弦楽団



木村直子を中心とするオーケストラ。木村直子は京都フィルハーモニー室内合奏団のコンサートミストレスを務めた。1998年夫君木村政雄と共に音楽企画集団「音登夢」を創立。音登夢管弦楽団は、室内楽のようなきめ細かいアンサンブルが持ち味のオーケストラである。中でも小玉晃氏が指導される合唱団とのコラボレーションは好評を博している。

合唱 ◆ *Kyoto Mixed Chorus*

京都混声合唱団

1925年頃、京都の音楽家たちによって芽吹き、翌1926年、京都在住の「同声会」（東京音楽学校同窓会※）メンバーに音楽愛好家加わって正式に発足。創立時は音楽の専門教育を受けた者の集団として京都の音楽界を牽引したが、戦時中に自然休団となり、戦後はアマチュア合唱団として再生した。大学などの支持母体を持たない混声合唱団としてはおそらく国内最古の団体で、2025年に創立100周年を迎えた。創立以来、オーケストラ伴奏による宗教大曲を中心に演奏活動を続け、1996年には長年にわたる活動が評価されて、京都新聞社五大賞の一つ「社会賞」を受賞。1991年、蔵田裕行（現当団名誉指揮者、関西二期会名誉会長）が常任指揮者に就任すると、京都市立芸術大学音楽学部と関西二期会で要職にあった蔵田の導きで、オペラへの参加など活動の幅を広げた。2015年には24年間もの長期にわたり指揮を務めた蔵田が退任し、新常任指揮者に小玉晃が就任。現在は正しい息とクリアな発語によって美しい響きを目指す、小玉独自の発声メソッドに取り組んでいる。

近年の演奏曲はヘンデル「メサイア」（2023年・小玉が指導する3団合同演奏会）、フォーレおよびラター「レクイエム」（2020年・創立95周年演奏会※新型コロナ感染拡大のため開催中止）など。現在の団員数は約80名。職業・年齢ともに多様なメンバーが集っている。

（※東京音楽学校=現・東京藝術大学音楽学部）



創立90周年記念演奏会（小玉晃指揮・ブ람ス「ドイツ・レクイエム」）

合唱 ◆ *Schola Cantorum Kobe*

混声合唱団スコラ・カントルム神戸

声楽家、合唱指揮者小玉晃の呼びかけで2018年7月に結成された合唱団。メンバーはオーディションによって選ばれており、独自の発声メソッドを用いたクリアな歌声と美しい発語により、「ことば」を伝えることのできるコーラスを目指している。団名「Schola（学校）、は常に「学び」の場でありたいとの願いを表している。結成年12月にヒルトンプラザイースト・アトリウムで開催されたクリスマスナイトコンサート〜キャロルから『第九』まで〜に出演し好評を得て、翌年引き続きヒルトンプラザ・ウインターコンサートに出演。また、本山ふれあい音楽フェスティバル〜初夏に歌う〜、生きた建築ミュージアムフェスティバルでは、源田俊一郎編曲「唱歌の四季」などを好演。これまでの演奏曲はブ람ス「ドイツレクイエム」やフォーレ「レクイエム」、デュリュフレ「レクイエム」、バッハ「クリスマス・オラトリオ」、モーツァルト「レクイエム」、ラター「レクイエム」など。

児童合唱 ◆ *Kyoto Junior Chorus*

京都市少年合唱団

全国で公立初の少年合唱団（児童合唱団）として1958年に創立され、合唱を通して豊かな音楽性と人間性を育むことを目的に活動を行っている。小4から中3まで総勢約200名の団員が在籍し、そのうち本演奏会に出演するのは、選抜グループ「響（ひびき）」の所属団員。京都コンサートホールにおいて年に2回開催する定期演奏会を活動の中心とし、その他様々な演奏活動を行っている。これまでに、京都市交響楽団や京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪フィルハーモニー交響楽団等のプロのオーケストラ、著名な指揮者、また海外の団体とも、多数にわたり共演を重ねている。近年は小澤征爾音楽塾オペラ公演や全国共同制作オペラ、関西二期会のオペラ公演等、オペラにも多数出演。クラシックだけにとどまらず、「ゆず」「一青窈」らのポップアーティストとの共演を果たすなど、ますますその活動の幅を広げている。

児童合唱指導：大谷圭介、小林千恵



ピアニスト ◆ Kei Tsujimoto

辻本 圭



大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。声楽を田原祥一郎・横田浩和、ピアノを大江章子・田原婦美子の各氏に師事。ピアノと声楽の両方を学んだ経験を生かし、在学中より声楽の伴奏者としての活躍を始める。

卒業後は、大阪音楽大学オペラハウス、関西歌劇団、川西市民オペラなどのコレペティトウアをつとめるほかMBS 主催” 一万人の第九” など関西の各合唱団のピアニストとしても活躍。2015年には兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホールにてリサイタルを開催、好評を博す。女声合唱” コール・ママン”、” コール・ティアラ” 指揮者。

ピアニスト ◆ Akemi Yoshii

吉井 明美



大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。バイラー大学にてK. ジョーダン氏のマスタークラスを受講。現地コンサートに出演。国際音楽セミナーに参加し、ピアノをC. エルフェ、M. ジョストウ、室内楽をC. エルフェ、P-Y. アルトー、D. ヴィダル、P. モンティ

の各氏に師事。ジョイントリサイタルなどソロでの活動や声楽・器楽伴奏、コーラス伴奏など様々な活動を行っている。富樫三起子氏に師事。日本ドイツリート協会、日本ショパン協会各会員。



名誉指揮者 ◆ Hiroyuki Kurata

蔵田 裕行 (1991~2015年:京都混声合唱団常任指揮者)



京都市立音楽短期大学卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱専攻修了。オーストリア政府給費留学生としてウィーンに留学。ウィーン国立音楽大学オペラ科、リート・オラトリオ科卒業。最優秀賞受賞。ウィーンアカデミー室内合唱団団員としてアン・デア・ウィーン劇場と契約。1976年ウィーン音楽祭にて話題公演ハイドン作曲「オルフェオとエウリディーチェ」オーストリア初演にソリストとして参加。指揮リチャード・ボニング、主演ニコライ・ゲッダ、ジョン・サザーランド。

帰国後はシューベルトの三大歌曲をはじめ、「詩人の恋」「マゲローネのロマンス」等の大曲を中心とし古典から現代に至るドイツ歌曲での二十数回に及ぶリサイタル。「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「メサイア」「第九」等のオラトリオのソリストの他、多数の演奏会に出演。

オペラは「フィガロの結婚」「魔笛」「コジ・ファン・トゥッテ」「ラ・ボエーム」「タンホイザー」等数多くの作品で主役を務めた他、「電話」「ルクリーシャ」「人買い太郎兵衛」「新説カチカチ山」等の室内オペラの出演も数多く、その緻密な演技により得難い性格俳優との評価を得る。

1968年～2001年京都市立芸術大学での教育活動により多くの優秀な人材を育成。1996年～2000年同大学音楽学部長。1987年「藤堂音楽褒賞」、2001年「京都市文化功労者」。2019年「京都府文化賞特別功労賞」。2024年文化庁「地域文化功労者」。京都市立芸術大学名誉教授。公益社団法人関西二期会名誉会長。

日本シューベルト協会相談役。1991年～2015年京都混声合唱団常任指揮者。毎年の定期演奏会の他、同合唱団の伝統である京都市交響楽団との共演で「天地創造」「四季」「ロ短調ミサ」「メサイア」「レクイエム(モーツァルト、ドヴォルザーク)」等のオラトリオおよび宗教曲の大曲を指揮。

放送：NHK タバのリサイタル。CD出版：「わが思いのすべて」

京都混声の 100年

昭和の幕開けとともに誕生した京都混声合唱団の、100年の歩みを振り返ります。先人たちの音楽への渴望、軍靴の響きにかき消された歌声を再び取り戻したエネルギー、そして3つの時代を歌い継いできた情熱と探究心を、新たな世紀へ伝えていきたいと思ひます。

1925年—1944年 草創期

1945年—1954年 戦後復興期



① 1927（昭和2）年11月19日、第1回発表会（森本芳雄指揮・同志社礼拝堂）
 ② 1935年の演奏会にて、指揮者クレインの傍には当時9歳のバイオリンリスト辻久子の姿も
 ③ 1938年、NHK京都放送局にて、
 ④ 大平洋戦争中の1943年、「京都合唱報国団」の名で開催した定期演奏会（朝比奈隆指揮・同志社礼拝堂）。当時同盟国だったドイツ・イタリアの楽曲は演奏を黙認されることがあったため、ベートーヴェン「莊嚴ミサ」を戦争で犠牲となった英霊追悼の曲とすることで、当局の指摘を免れたと伝わる。
 ⑤ 戦後復興期の1950年、「マタイ受難曲」演奏会に参加（山田和雄指揮、のちの山田一雄・同志社礼拝堂）

7

＜草創期＞

●1925（大正14）頃～1929（昭和4）年…「京混」誕生

1925年、京都在住の「同声会」（東京音楽学校＝現・東京藝術大学音楽学部＝の同窓会）第1期生ら音楽の専門家の中で、「音楽らしい音楽を京都に」という声が高まる。26年、同声会メンバーに音楽愛好家が加わり、「京都混声合唱団」が誕生。京都で唯一の混声合唱団だったと考えられる。中心メンバーは日本最古のリート歌手とされる柳兼子（柳宗悦夫人）など。27年、第1回発表会開催。曲目はヨーロッパ民謡・歌曲、歌劇「サムソンとデリラ」合唱曲、モーツァルトのミサ曲など。当時の練習場は三条寺町の十字屋楽器店。29年、ロシア出身のエフゲン・クレインを指揮者に迎える。宗教曲・歌劇など大曲への取り組みがスタートし、のちの当団の活動スタイルの基礎が築かれていく。35年、NHK京都放送局にてラジオ出演し、以降も度々出演した。

●1937（昭和12）～1944（昭和19）年…戦争の時代

36年に二・二六事件。音楽をはじめ文化活動の軽視や締め付けが始まる。当団は京都音楽連盟合唱団と合同して一時的に「京都合唱団」を組織。41年、太平洋戦争開戦。緊迫する時局を乗り越えるため「京都合唱報国団」に改称。44年、戦局の激化とともにメンバーが減少し、自然休団。

＜戦後復興期＞

●1945（昭和20）～1950（昭和25）年…再出発

終戦の混乱の中、有志で団員を一人ずつ探し出して活動を再開。45年12月24日にクリスマス・キャロルを実施。46年、一時的に「京都コーラス」を名乗り、第1回関西合唱コンクールに出場。混声合唱の部1位、総合3位。当時の団員数は65名。47年、本格的にアマチュア合唱団としての活動を開始し、市民合唱団・人文学園合唱団と合流。慰問演奏、小演奏会を開催するほか、京都合唱連盟「大合唱祭」などに参加。50年、「練習日誌」の記録が始まり、これは2020年まで続いた。12月、バッハ200年祭記念「マタイ受難曲」演奏会に参加。

●1951（昭和26）～1954（昭和29）年

…フォーレ「レクイエム」関西初演など新たな時代へ

51年、草創期からの指導者、森本芳雄が正指揮者就任。6月、当団も加わった京都合唱連盟が関西交響楽団定演に参加して「第九」を演奏。京都の合唱団による初演となった。7月には当団単独でフォーレ「レクイエム」を関西初演。8月、NHKラジオで同曲を全国中継放送した。その間、朝鮮戦争で負傷した米兵への慰問演奏、新制定京都市歌合唱大会など精力的に活動したが、11月に森本が急逝。52年、新指揮者に青山政雄が就任した。



※参考：金子清明編著『京都混声合唱団六十年史』（1985年）

1955年—1974年 合唱興隆期

<合唱興隆期>

●1955（昭和30）～1974（昭和49）年

…指揮者不在の時代を乗り越えて再び大曲への挑戦が続く

原則として年1回の定期演奏会開催のほか、円山音楽堂での土曜コンサート、勤労者音楽会、京都合唱連盟合唱祭、関西合唱コンクールなど意欲的に活動。この頃、全国で「うたごえ運動」が盛んになり、合唱サークルや歌声喫茶がブームに。63年、青山が京都を離れ、当面は団員の牛丸紘一、明石好中らが指揮を担当して困難期を乗り越える。66年、常任指揮者に元団員の伊吹新一就任。練習場が十字屋から聖ヨハネ教会（河原町五条下ル）に移る。この時期の演奏曲は国内外の歌曲・民謡、

カトリック聖歌、ドヴォルザーク「スタバト マーテル」、ピツェッティ「レクイエム」、モーツァルト「ミサ曲ハ短調 K.427」、フォーレ「レクイエム」、松本民三「切支丹物語」、ヴェルディ「スタバト・マーテル」、メンデルスゾーン「三つのモテット」、モーツァルト「ミサ・プレヴィイス」「戴冠ミサ」、ミュージカル曲、ハイドン「ハイリッヒ・ミサ 変ロ長調」など。京都市交響楽団（以下、京響）定期演奏会「第九」「ハレルヤ（メサイアより）」へも参加。

70年、指揮者に青山政雄が復帰。70・71年、バッハ「クリスマス・オラトリオ」演奏会。この時期の演奏曲はマドリガル、シャンソン、フォーレ「レクイエム」、團伊玖磨「筑後川」、モーツァルト「聖証者の荘厳晩課」、ベートーヴェン「ミサ曲ハ長調」、デュリュフレ「レクイエム」など。京響「第九」にも度々参加。

1975年—1990年 50周年～拡張期



創立50周年記念定期演奏会（青山政雄指揮・京都公会館第1ホール）

<50周年～拡張期>

●1975（昭和50）～1979（昭和54）年…創立50周年

75年、テイチクよりLPレコード「ロシア民謡」をリリース。同年、京響の伴奏で創立50周年記念定期演奏会（モーツァルト「レクイエム」ほか）を開催。当時の登壇者のうち1名は現在も在団中。79年には御坊混声合唱団ジョイント演奏会、バレエ「くるみ割り人形」公演への女声出演など活動を広げた。

●1980（昭和55）～1990（平成2）年

…外国合唱団とのコラボも

82年、京都音楽家クラブの藤堂頭一郎音楽褒賞基金第1回（団体）受賞。84年、ベートーヴェン「荘厳ミサ」を京都の合唱団として全曲初演。85年、創立60周年記念演奏会（メンデルスゾーン オラトリオ「エリヤ」）。『京都混声合唱団六十年史』刊行。87年、西独ガンバッハ混声合唱団と交歓演奏会。

1991年—現在 平成・令和の飛翔期

<平成・令和の飛翔期>

●1991（平成3）～2015（平成27）年…さらに活動を拡大

91年、蔵田裕行が常任指揮者に就任。96年、京都新聞社五大賞の一つ「社会賞」を当団が受賞。この時期の主な演奏曲はハイドンのオラトリオ「天地創造」「四季」、ヘンデル「メサイア」、バッハ「ロ短調ミサ」、モーツァルト「レクイエム」。小曲構成によるピアノ伴奏の定期演奏会、他県への演奏旅行なども行い、歌劇「こうもり」「フィデリオ」への参加という貴重な経験も。2013年、びわこアーベントロート合唱団と合同演奏会（メンデルスゾーン「エリヤ」、広上淳一指揮、京響）。15年、24年間にわたり当団を指揮した蔵田が退任し、初代名誉指揮者に就任。新常任指揮者には小玉晃が就任した。

●2016（平成28）～現在…新たな響きを求めて

独自の小玉メソッドによる、さらに美しい響きを目指した指導がスタート。16年、創立90周年記念演奏会（ブラームス「ドイツ・レクイエム」、蔵田指揮による創立70周年記念演奏会復刻特別ステージ・ハイドン「四季」抜粋）。18年、びわこアーベントロート合唱団と合同演奏会（バッハ「マタイ受難曲」）。20年、新型コロナウイルス感染症拡大のため創立95周年記念演奏会を開催直前に中止。練習場は京都府薬剤師会館から鴨沂会館に移る。コロナ禍で毎回の練習出席者は十数名という困難な時期を経て、23年、3団合同演奏会「メサイア」を開催。その後団員は約80名に増え、今日を迎えた。

団・員・募・集

SINCE
1925

京都混声合唱団



次回演奏会

2026年7月12日(日)
京都コンサートホール(大ホール)
J.S. バッハ作曲
ヨハネ受難曲

バッハ宗教音楽の世界を
ご一緒に体現しませんか。
年数回の交流会もあり、
アットホームな雰囲気
の合唱団です。

見学歓迎!

- 入団オーディションはありません。
音楽を愛する方ならどなたでも!
- 入団費 1000円(学生無料) / 月団費 3500円(学生1000円)
- 練習時間: 金曜 18:20 ~ 21:00 (体操・発声 30分含む)
- 練習会場: 鴨沂会館新館ホール(河原町荒神口西入北側)

☎ 090-1226-1717
<http://kyou-kon.jp>

混声合唱団 スコラ・カントルム神戸



次回演奏会

2025年6月28日(土)
伊丹アイフォニックホール

ブルックナー「モテット」
ブラームス「ジプシーの歌」
J.ラター「マニフィカート」
詳細は右上のQRコードから

『マニフィカート』
ワンステージメンバー 男声募集!
・オーディションはありません ・女声U25、男声募集
・詳しくは右上のQRコードから

正団員も募集しています
●練習会場: 御影ルーテル教会、神戸雲内教会
●練習時間: 月曜日 18:30 ~ 21:00 月2回
●入団金: 3000円(学生1000円) / 月会費 3000円(学生1000円)
レッスン見学・オーディションは事務局にメールでお申し込みください
scholacantorumkobe@gmail.com



あなたも小玉メソッドを習得しませんか?
オールジャンルに対応する歌唱力を

詳細は本日の挟み込みチラシ
またはホームページをご覧ください。



公式LINE



ホームページ



YouTube

*100th
Anniversary*

新しい世紀へ踏み出した京混を
これからもよろしく願いいたします

京都混声合唱団

